

● **国際交流パーティー（2024.3.3）**

総合福祉センターにて、5年ぶりの開催となりました。10を超える国や地域から100名以上が参加し、ネパールの歌やコロンビアの舞踊、エイサー、クイズなどで盛り上がりました。ブルガリアの紹介や物産販売も行われ、国際色豊かな料理を楽しみながら交流しました。



パフォーマンス

【ネパールの歌「レッサムフィリリ」】

春暉国際学院のネパール人学生が、お国で広く愛唱されている歌を歌いました。題名のレッサムは絹、フィリリはひらひらという意味で、愛する人を思う気持ちををはためく絹に例えているそうです。

【コロンビアの舞踊】

モンテローザさんが、クンビア（コロンビア発祥の音楽・舞踊）の求婚の踊りなどを披露した後、観客も加わって踊りました。

【エイサー】

創人エイサー守破離太鼓の皆さんが飛び入り出演、演技の後には観客も太鼓を貸してもらってエイサーを体験しました。

ブルガリアの紹介と物販

ステファンさんが春を呼ぶ祭り「クケリ」の仮面をかぶって登場、クイズなどで楽しくブルガリアについて学びました。

料理

コロンビアのギサド・デ・ポヨ、中南米のエンパナーダ、南アジアのアチャール、韓国のチヂミなど様々な外国料理が並び、「どれから食べるか迷う！」という声も上がっていました。



参加者の感想

- ・人と会うのが好きで参加したら、多くの人に話しかけてもらえてうれしかった
- ・いかにも「国際！」という感じで楽しかった



INFORMATION CORNER

Onojo-city International Exchange Association

○ ことばの交流ひろば

「ことばの交流ひろば」は、1999年に大野城市国際交流協会が設立された2年後の2001年に大野城市及び近郊に在住する外国の方々の生活支援を目的として開設した講座です。生活に欠かせない日本語学習の後、日本の文化や生活習慣を協会員との交流を通じて受講生に楽しく習得してもらっています。今では協会員が、国際色豊かな受講生の出身国の文化習慣が学べる貴重な時間でもあります。



学習者総数	2023年4月～2024年3月	24名
学習者 国名	中国、タイ、アメリカ、インドネシア、インド	
	スリランカ、フィリピン、アフガニスタン	

○ 今後に向けて

大野城市国際交流協会は、大野城市及び近隣の団体・組織と会議等を経て情報交換や活動への協力を行っています。2023年度の大野城市外での会合は12回、市内での会合は25回あり、コロナ収束後の国際化推進協議等で大変多忙な年度でした。先日の「市町村国際交流会議」の場ではベトナム領事の講話から「福岡県においては近年ベトナムからの企業研修生の増加が顕著にみられる」と、現状が伝わってきました。私たちは様々な社会現状を捉え、グローバル化の進む社会の中で協会の掲げたモットーの下、一丸となってさらに国際交流活動を展開させていきたいと思います。

Other Organizations News & Event



3月9日、OISCA 西日本研修センターにおいて、アジア・南太平洋を中心とした海外研修生の令和5年度修了式が行われました。来日後、研修所での作業と同時に日本語学習及び日本文化の習得、近隣の団体各所での「異文化交流」と研修生は頑張ってきました。国際交流協会は、センター訪問や「まどかフェスティバル」でのOISCA産の野菜の販売、大野城市で

開催する「スピーチコンテスト」への研修生の出場等を通して交流を続けています。研修を終えた皆さんの母国での活躍を願っています。📍

編集後記

桃の節句も過ぎ、いよいよ春の到来です。皆さんにとって、2023年度はどんな一年でしたでしょうか。「begin 新聞」ではたくさんの活動報告を得て非常に充実した記事が掲載できました。ありがとうございました。2024年は、一つひとつの活動内容を大切に、より一層飛躍できるような紙面づくりを目指したいと思います。



大野城市国際交流協会事務局： 市役所3階 コミュニティ文化課内

TEL: 090-2067-3173 Fax: 092-573-7791 email: begin@city.onojo.fukuoka.jp